

2004年4月5日 No.72

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤一郎

東京都港区新橋5-17-7 小林ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

全国一般全国協

04春闘中小労組の闘い本番はこれから

生活防衛、非正規雇用労働者の均等待遇、権利確立を掲げ4-5月闘争を闘いぬこう

全国一般労働組合全国協議会中央執行委員会



3.20 日比谷集会

終わらせようイラク占領!

撤退させよう自衛隊! のスローガンの下全国で闘いぬかれた反戦春闘

04春闘の前半戦は、「イラク占領を終わらせ、自衛隊をイラクから撤退させろ」と要求する反戦春闘として闘われた。とりわけ、イラク侵略戦争1周年の3月20日には、世界統一行動デーとして、全国各地で大規模な集会、デモが取組まれた。(各地の闘いは2-3ページに報告)

連合大手の春闘放棄
ベアなし、一時金のみ集中回答日
(3月17日)

連合大手は今年も賃上げ要求を放棄した。春闘集中回答日の新聞には一時金の大手企業で、ベア論外、記事だけが大きく掲載されていた。業績回復が著しい

昇見直し攻撃が続き、各種手当が廃止され、成果主義賃金の原資に回される事態が進んでいる。大手組合の闘争放棄が中小労働組合の春闘に悪影響を及ぼしている。

止まらない賃下げ、リストラ提案
中小、下請単価切り下げ
犠牲の上の大手の業績回復

大手企業を中心とする業績回復はこの国の話なのか。中小労働組合に対する回答は厳しく、定昇無し、000円から2、000円が良いところだ。逆に、賃下げ・リストラ提案が止まらず、賃金要求できない組合も増えている。

生活防衛の賃上げ、非正規雇用労働者の均等待遇、権利確立に向け
04春闘本番を闘いぬこう!

中小労働組合にとって、生活防衛の賃上げ闘争はこれから本番だ。年収減が続き、さらに、増税、年金掛け金の引上げが予定される状況で、賃金をこれ以上目減りさせない為に、1000円要求を掲げ、粘り強く闘いぬこう。合わせて、急激に増加している非正規雇用労働者の均等待遇、権利確立を要求していこう。

年金改悪に反対する、
世直し春闘の取組みを!

自民、公明両与党の合意で年金改悪法の国会審議が4月に入り、強行されようとしている。支給を引き下げ、掛け金を上げる年金改悪を許してはならない。年金改悪を許さない、世直し春闘に取組もう。

各地の取り組み報告

毎週続く春闘総行動と

米領事館デモ

全国協 関西ブロック

「非正規がメイン」となってきた今年の春闘は、ヤマ場を半月早め、大阪総行動も3月3日に実施され、計14か所のターゲットとなった。行政交渉としては、「新しい労基法と派遣法・雇用保険未加入など」で大阪労働局と、「大塚など不当労働行為企業関連の入札」で大阪府、「非常勤講師塾雇用と違法な業務委託」で府教委、とそれぞれに激しく迫った。

争議支援では、大塚・シエル・全港湾・全日建・郵政公社・地域ユニオンなど多彩だったが、全国協ではゼネラルユニオンが、日米英語学院・府教委に押しかけた他、賃下げと雇い止めで争議拡大中の西宮市教委にも、外国人組合員が大勢参

加した。また全国協徳島や京都の仲間も多数合流した。一方その間も反戦集会は毎週のように連続し、梅田の米領事館前はデモがひっきりなしである。さらに1周年の3月20日には、おさかユニオンネットワークと、平和人権センターなどが共同し、扇町公園集会がもたれた。これは連合内旧総評系の自治労などと、全港湾や全国協など我々塾共同の実行委主催で、大きな結果となった。

今後、争議支援を強めつつ、5月22日の「これでもいいのか地労委シンポ」や、6月6日の「非正規セミナー」【全国協主催・京都】などに結集していく。

3.18 神奈川春闘共同行動を闘う!

今年も神奈川で、32団体が結集し春闘共同行動が闘われた。午前中は、争議職場への支援が行われた。組合敵視を永年に渡って

続ける昭和シエルが最初の現場。70名余りの労働者が横浜工場の正門から抗議の声を上げた。続く現場は横浜商銀。リストラ解雇・団交拒否を続ける理事長に対

し、1000名を超える仲間が怒りのシユプレヒコール。部隊はMM地区にある横浜市廃棄物資源公社へと移動。裁判に負けても開き直る職員を追求した。

午後は、二手に分かれ神奈川労働局とイラクに艦艇を送っている海上自衛隊横須賀総監部への申し入れ・交渉を行った。



3.18 神奈川春闘共同集會

その後、二手に分かれた部隊は横浜市で合流。「サービス残業の禁止」「公契約における労働条項の実施」「違法企業の排除」「ILO条約の批准」「委託先労働団体との協議」「イラクの自衛隊派兵反対」を申し入

れ、横浜市の姿勢を徹底追求した。夜の集会は例年通り荒天となったが雨を突き300名を超す労働者が反戦・春闘勝利を訴えデモ行進し、神奈川の共同行動を終えた。

3.24 春の共同行動

全国協 九州・山口ブロック

2004年の九州・山口ブロックにおける春の共同行動は3月24日に33名の結集でたたかわれました。争議職場への行動と労働局への申し入れです。

会と申入れを行いました。最後に全体で、博多駅前で宣伝カー情宣とピラ配りをしました。労働局には、解雇制限と有期雇用に関しての申し入れと交渉を行いました。

ひとつは、賃下げの一方的強行と組合つぶしを続ける明和運輸のユニオン北九州交通運輸支部明和運輸分會。ここでは構内集会と申入れを貫徹しました。もうひとつは、仕事とりあげ・差別査定とたたかう仲間が働くユニオン北九州北九州支部トーカーイ分會(条鋼製造・元東海鋼業)。トーカーイ本社は初お目見えです。会社側が大混乱におちいる中、断固として集

お知らせ

6月6日(日) 非正規雇用問題組織化交流会を京都にて開催 - 西日本地区対象 -

地区労に結集した「春闘」 「反戦・平和」の闘い

佐野地区労

栃木県の佐野では、地区労が中心になって春闘共闘会議を結成し、04春闘に取り組んでいる。一人一人が手書きの春闘ステッカーを作成、単組ごとに赤布に寄せ書きを作り、組合間で交流し、春闘を盛り上げている。

3月3日の学習会には70人が集まり、「イラク派兵と憲法改正」をテーマに百万人署名運動の小田原事務局長が講演した。



3月11日には市役所前広場に300名が結集して春闘総決起集会を開催、集会後、市役所から(株)由倉佐野工場までデモ行進し、由倉に対し争議解決の申し入れを行った。

3月15日には地区労加盟組合の竹中労組に全国協の遠藤書記長が春闘学習会の講師として招かれ、60名の組合員を前に講演を行った。



450名参加の「自衛隊のイラク派兵に反対し、憲

3・20 宮城で 4000名集会



法改悪を許さない1・31東北集会」を出発点に、宮城では、その後二回の反戦行動が取られました。

自衛隊のイラク派兵に抗議する2・22集会は宮城全労協の組合員を中心に150名が「STOP THE WAR!」のプラカードを手にデモ行進。

続いて超党派で4000名参加した「全世界の人々と手をつなぎ、終わらせようイラク占領! 撤退させよう自衛隊!」3・20仙台集会でも、街行く市民に

反戦をアッピール。この集会は、メーデーを除いて、県内過去最大の参加であった。

3・23 労働局交渉 3・25 春闘決起集会 京都 連日のとりくみ

自立労連

○四春期行動ネットワーク京都は、京都の中小労働者、非正規雇用労働者、公務員、公務非常勤労働者などで春闘時に組織され、行

政闘争や反戦平和闘争や労働相談などを行なっています。

三月五日に大塚製薬労組の仲間と共に京都府への申し入れを行いました。二三日は約二〇人で、市内二ヶ所で早朝情宣をしたのち、労働局交渉を行いました。最低賃金の引き上げ! 労災保険の民営化反対! 解雇の金銭的解決反対! 労働基準監督署は労働者保護の立場を鮮明にせよ! などの申入れを行ないました。交渉は中小労働者にとってはどのような生活破壊・雇用破壊につながるのかという具体的事例を挙げながら交渉となりました。

二五日の労働者集会は、全国協書記長の遠藤一郎さんの「春闘情勢と労働者の課題」と題する講演をメインとする集会で、闘いの現場から、ユニオンラクト、国労闘争団、ストップ・ザ・工場閉鎖ユアサ連絡会、大塚製薬労働組合の仲間が発言しました。約七〇人が参加した熱気溢れる集会で、四春闘勝利! イラク戦争反対! を誓いました。五月一日の第一四回京都地域メーデーの圧倒的成功に向け、今後も奮闘します。

朝日広告社 阿部組合員 地位保全の仮処分決定勝ち取る

宮城合同労組

仙台市広瀬通りに面する(株)東日本朝日広告社は人件費の大幅な削減を図る為、給料の高い高年齢労働者に対し極端な退職勧奨を繰返しており、53歳の阿部組合員に対しても、配転命令を繰返す、業績評価を下げる事により給与を下げ賞与を支給しない、日常的監視体制しいてあらゆる捜しを行なうなど、あらゆる嫌がらせをして退職を強要していた。会社は言いがかりをつけて

始末書提出命令を下し、拒否すると減給処分を行ない、阿部組合員がそれでも屈服しないと見ると、遂に、03年10月31日付で解雇処分を下した。

今回の申立ては東日本朝日広告社のなりふりかまわぬ中高年リストラを阻止する為阿部組合員が先頭で闘ったと言つべきであり、保全決定の持つ意味はきわめて大きい。

最高裁上告不受理決定 株由倉の不当労働行為確定

由倉工業労働組合

中労委不当労働行為救済命令に対し、行政訴訟を起し、地裁、高裁と敗訴していた由倉は、最高裁に上告していたが、3月26日に不受理決定が出され、不当労働行為が確定、組合の完全勝利となった。会社は、謝罪し、争議の全面解決を図らなければならなくなった。

04春の共同行動

春闘総決起集会に結集しよう!!

全国協書記局

自衛隊派兵反対、イラクに平和を！ 使い捨てはゴミメンだ、中小・非正規労働

者に権利を！ を中心スローガンに、2004年春の共同行動が全国の中小労働組

室蘭行動

2月17、18日、全国港湾の呼びかけから北海道現地の平和フォーラムなども加わった実行委員会の主催によって「自衛隊を戦場に送るな！ 室蘭港の軍事利用反対！」闘争が行われた。全港湾の呼びかけに呼応して全日建と私たち三単産もイラク侵略戦争反対の現地闘争に取り組んだ。1月12日広島・呉につづく共同行動となった。

いちめん雪に覆われ、

吹雪が舞う中、全国から集まって港湾労働者と現地北海道の人たちと共に私たちは、イラクに重兵器・装甲車などの軍事物資を運ぶために室蘭港に接岸する海上自衛隊輸送・揚陸艦「おおすみ」への抗議行動を17日夜600名、18日早朝には300名がでおこなった。18日には市民団体の人々も海上と、小高い丘に陣取って抗議行動を繰り広げた。港での抗議行動の合間には室蘭市へ「入港を阻止し、イラク戦争反対の立場を貫くように要請行動にも取り組んだ。

三単産共同の隊列で、今年も、沖縄平和行進を成功させよう！

合の結集で、3月3日出発各地区で春闘総行動を展開している。3月行動を中間集約し、4、5月の闘いにつなげて行く為に、4月7日、中央行動、決起集会、デモに取組む。

日中の行動は、厚生労働省前集会(12時15分)から、みずほ銀行、金融庁、NTT持ち株会社トヨタ本社、

NECと拠点要請行動を連続的に展開、交通会館で決起集会(18時30分)、銀座デモを計画している。全国協は全国から結集し、この行動を先頭に立って成功させよう。

三単産共同の沖縄平和行進も今年で3年目を迎える。全国協では、中岡委員長を先頭に全国から12名を派遣する。沖縄の地上戦とその後の米軍占領は、今日のイラクの状況そのものだ。

そして、今、またイラク侵略や朝鮮有事を口実に、基地の強化拡大が進められようとしている。沖縄の基地をなくす闘いから日本の反戦闘争を前進させるために、平和行進を成功させよう。

